



## 「しつけ糸」

副校長 小林 資郷

早いもので今年も早や1か月が過ぎ2月を迎えます。2月は旧暦で「如月」。寒さが厳しいので衣を更に重ねて着る「衣更着」に由来するそうです。現代でも寒さが一層厳しくなる時期ですが暦の上では間もなく立春です。今年143年目を迎える開一小は練馬の名木に指定されているクスノキをはじめ、メタセコイア、イチヨウなど昔からある木々に囲まれています。サクラやモクレンには可愛らしいつぼみがもう芽吹いています。一步一步近づいている春の足音を感じながら子供たち、教職員、地域の皆様と共に充実した日々を過ごしていきたいと思えます。

先日、いつものように朝、挨拶していると、とても所作の美しい児童に会いました。廊下で挨拶すると、その場に立ち止まり、元気よく「おはようございます。」と言ってから一度目線を下げて一礼し、素敵な笑顔を返してくれたのです。その立ち居振る舞いの素晴らしさに感心していたら「しつけ糸」が思い浮かんできました。洋裁でも和裁でも仮縫いをする時、細い糸で型を整えます。この糸を「しつけ糸」と言いますが、これがいいかげんだと型が崩れてしまいます。また、太い糸を使うと出来上がったとき、布地に穴が空いてしまい、良い製品にならないのだそうです。細い糸でまんべんなくかけてあげ、衣服が出来上がった時、「しつけ糸」は取ります。ご家庭や学校での「躰」も、この「しつけ糸」と同じだと思えました。乳幼児から今まで、保護者の方があらゆる場面の一つ一つに、丁寧に気を配り「しつけ糸」をかけてきたわけです。この「しつけ糸」を外すのは、外しても型が崩れる心配がなくなった時で、子ども自身が自分で本縫いの丈夫な糸を作り出した時です。子供を一本立ちさせるためには、正しい「しつけ糸」をかけた上で、押しつけにならないように注意することも大切です。子どもが大人の手を離れ、自分の力で正しく、美しく、力強く生きていくための下地を作ってやるのが、私たち大人の務めだと考えます。「躰」は身に美しく書きます。身も心も美しさがにじみ出る挨拶や子供も大人もお互いが安心できる気持ちの良い挨拶を開一小では大切にしていきたいです。



話は変わりますが、現在、開一小では今年の12月から始まる長寿命化改修工事に向けた準備を区の方と進めております。その計画や調査で分かったことですが、長年、校庭の真ん中で子供たちを見守ってきてくれた「スダジイ」の木は、樹木医の診断の結果、枝枯れや空洞化が激しく倒木の恐れがあることが分かり、安全を鑑み、2月下旬ごろ残念ながら伐採することとなりました。

また、校内にある卒業制作の中には改修工事後の復旧が難しい作品があることも分かりました。卒業生の皆様の中には、スダジイの木や卒業制作に思い入れのある方もいらっしゃるかと思います。もし記念撮影等のご希望がありましたら学校までご連絡ください。

# 2月の行事予定



日	月	火	水	木	金	土
2	3 全校朝会 委員会活動	4 安全指導 ユニセフ募金 (6日まで)	5 全学年4時間授業 (校内研究日)	6	7 朝遊び 1年幼保交流会	8 土曜授業日 児童集会 もりもりウイーク (持久走)終 2・3校時 授業公開
9	10 児童集会 クラブ発表始	11 建国記念の日	12 全学年4時間授業 (区教員研究会)	13	14 たてわり班活動	15
16	17 児童集会 クラブ活動	18 低学年午前授業 入学説明会	19	20 高学年 送別球技大会	21 朝遊び 学校評議員会	22
23 天皇誕生日	24 振替休日	25 高学年午前授業 高学年保護者会	26	27 中学年午前授業 中学年保護者会	28 朝遊び 低学年午前授業 低学年保護者会	3/1
2	3 音楽朝会 委員会活動	4 安全指導	5 6年生を送る会 全学年4時間授業 (校内研究日)	6 3月避難訓練 3年校外見学	7 たてわり班活動	8

※ 2月の避難訓練は予告なしで行います。

## 生活目標《すすんで活動しよう》

学年のまとめの時期になりました。1年間の活動を振り返り、できるようになったことや次の学年に向けて頑張りたいことを考えて、すすんで残りの期間を過ごしてほしいものです。今月の生活目標は「すすんで活動しよう」です。

ご家庭でも、子供たちに進んで活動させたいと思ってもどうすれば良いか・・・悩みどころですね。まずは自分ならどうすればすすんで活動したくなるかを考えてみましょう。例えば、人から褒められること。例えば、自分の成長が見えるようにすること。例えば、一緒に活動すること。人によって違いますので、子供たちの様子を見たり、声かけを考えたりして試行錯誤しながらすすんで活動できるようにしていくことが大切だと考えます。次に自分からしたいと思って活動し始めたら、しっかりと大人が支えているから、失敗しても大丈夫というサインを出してあげましょう。安心すると活動に迷いなくなります。最後に出来たことを具体的に褒めましょう。自分に自信がもてて、次の活動に向けて自分からすすんで活動していきます。

それぞれの子たちが、自分の良さを生かして進んで活動できる月にできるよう学校でも声かけや支援をしていきます。保護者の皆様もご協力をよろしくをお願いします。



今年度から、使い捨てカイロは学校へ持って来ないこととしました。1番の理由は、教室環境(ごみ)の改善です。たくさんのお子さんが過ごす学校では、どうしてもカイロを落としてしまう状況がこれまで散見されてきました。子供たちが落ち着いて学習できる環境のために、寒さの対策は着衣で行うようご協力をお願いします。特別な事情があって必要な場合は、連絡帳などでご相談ください。